

長岡第八小の西側に開園する恵解山古墳公園



1,600年の時を経て甦る

国指定史跡

恵解山古墳公園

10月26日(日)オープン

乙訓地域最大の前方後円墳である^{いげのやま}恵解山古墳が史跡公園として、間もなくオープンします。古墳が造られた5世紀前半の姿を復元し、平坦面には約650点の埴輪^{へいたん}を並び、斜面の一部には^{はにわ}葺石を敷き詰めています。約700点もの鉄製武器が出土し、昭和56年に国の史跡に指定されてから30余年。公園として甦^{よみがえ}った恵解山古墳で、1,600年前に思いをはせてみませんか。

強大な権力者の墓

恵解山古墳は、乙訓地域最大の前方後円墳で全長は約128m、周濠部を含めると約180mあります。5世紀前半に桂川右岸の乙訓地域を治めた王の墓と考えられています。

4世紀末から5世紀に

かけての日本は、政治の再編や政権交代が行われた時期と考えられています。奈良の東南部に多く造られていた大型の前方後円墳は、奈良北部や大阪へ移っていききました。恵解山古墳はそうした中央政権の移動と連動して

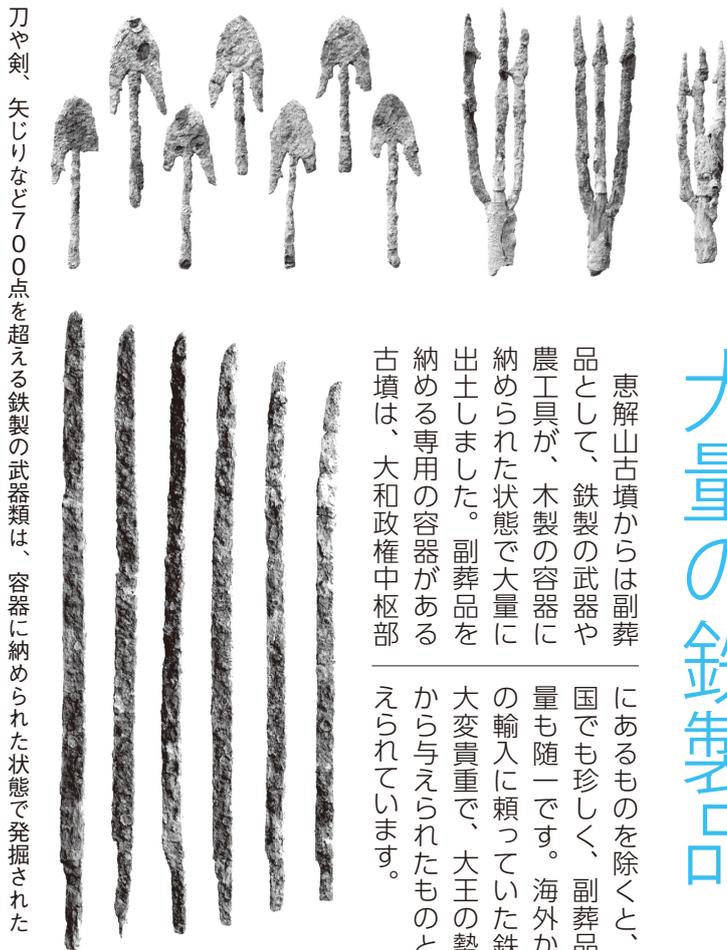
造られています。

この地は、淀川水系の奈良・大阪・京都と山陰との交易上、重要な位置にあることから、政治の中心であった大和政権との強いつながりの中で、古墳が誕生したことがうかがえます。

大量の鉄製品

恵解山古墳からは副葬品として、鉄製の武器や農具が、木製の容器に納められた状態で大量に出土しました。副葬品を納める専用の容器がある古墳は、大和政権中枢部

にあるものを除くと、全国でも珍しく、副葬品の量も随一です。海外からの輸入に頼っていた鉄は大変貴重で、大王の勢力から与えられたものと考えられています。



刀や剣、矢じりなど700点を超える鉄製の武器類は、容器に納められた状態で発掘された



What's? IGENOYAMA

キーワードで迫る恵解山古墳の謎

発掘秘話

(公財)長岡京市埋蔵文化財センター 山本輝雄さん

古墳の上には江戸時代から地域のお墓があります。その墓地の拡張工事の際に、鉄製の刀剣や矢じりが出土したことから、本格的な調査を始めました。当初「山崎の合戦の時の刀ではないか」との話もありましたが、形状から古墳時代のものだとわかりました。

鉄製武器類が納められていた容器は想像以上に大きく、予定よりも広い範囲を発掘しなければならなくなりました。幸いにも土地の所有者が長岡京を発掘した故中山修一氏だったので、すぐに許可を得て、全容を解明することができました。もし所有者が別の人なら、調査できなかつたかもしれません。

当時、貴重な発見が話題となり、新聞などでも報じられました。出土品に万が一のことがあってはいけないと、隣にテナントを張って、寝ずの番をしました。周りは田んぼで夜になると真っ暗、すぐそばにお墓があるので、怖い思いをしました。遺跡を残すことが難しい中、復元整備され、後世に伝えることができたことをうれしく思います。調査がそのきっかけの一つになったかと思うと、感慨もひとしおです。



儀式・埴輪

恵解山古墳の特徴の一つに挙げられるのは、前方後円墳の両脇に突き出した「造り出し」があることです。ここでは葬送儀礼などの祭祀が行われていたと考えられています。

西側は四角く、埴輪が並べられ、葬儀が行われたとみられています。それに対して、東側は小石が敷かれ、浜辺のような形をしています。人の頭ほどの大きさの石が並べられてあり、水鳥形の埴輪も出土しました。



葬送儀礼を行った西側の造り出しには円筒埴輪が並ぶ

した。神の使いの水鳥がたえず自然を表現し、王を神として称えたのかもかもしれません。

古墳に並べられた埴輪はさまざまで、土管のよくな円筒埴輪やラップ型の朝顔形埴輪などが1800本以上並べられていたことがわかっていきます。ほかにも家や壺、盾、鶏などの形をした埴輪が出土しました。



家形埴輪



水鳥形埴輪



円筒埴輪



戦国時代の土器と火縄銃の鉛弾

山崎の合戦？

織田信長が明智光秀に倒された本能寺の変の直後、羽柴(豊臣)秀吉と光秀が激突した山崎の合戦。恵解山古墳が、この戦の舞台となった可能性があります。

古墳からは、合戦当時の土器片と共に、火縄銃の鉛弾が出土しています。戦の陣を置くために、古墳は形を変えました。前方部を大きく削り、後円部には大きな平坦面を作り、兵を置いたことが想像されます。

地元の想い

勝竜寺自治会会長 奈佐保さん



恵解山古墳が復元され、立派な古墳公園として生まれ変わることをうれしく思っています。

発掘が始まるまでは地域のお墓や竹林があるだけでした。木が生い茂り、人が入るのも大変でした。国の史跡に指定されたからは、お墓の周囲をきれいにし、小学生の遊び場にもなりました。隣の長岡第八小の校歌には「みどりゆたかな恵解山」とあります。子どもたちは、古墳にある竹

やぶで、久貝の農家の方の協力を得て、タケノコ掘りを体験しています。

地元でも、早くから復元を望む声がありました。お墓があるため、完全に発掘できていませんが、それだけにまだまだロマンを秘めた古墳だと思っています。

これだけ多くの埴輪が並ぶ公園はなかなかありません。散策や観光など、市民のみなさんの憩いの場として、親しまれることを願っています。

古墳時代の
巫女に変身!



お玉ちゃんと歩く

恵解山古墳公園

さ・ん・ぽ!

開園イベント・見学会 *雨天中止

10月26日@ 正午～午後3時
恵解山古墳公園

▷先着600人に記念品が当たるクイズラリー ▷古代衣装体験 ▷じゃんけん大会 with 古墳にコーン協会 ▷ペーパークラフト刀づくり体験▷粘土 de 埴輪づくり体験 ▷古墳グッズや物産の販売 ▷観光 PR



記念品の例

開園記念特別企画展 *会期中無休
「恵解山古墳～乙訓最大の古墳～」

10月26日@～11月30日@
午前8時30分～午後5時
(土・日・祝 午前10時～午後4時)
埋蔵文化財調査センター (奥海印寺)

府立山城郷土資料館に寄託保管されている府指定文化財の鉄製武器類をはじめ、出土状況の等倍写真や埴輪などを展示します。



アクセス

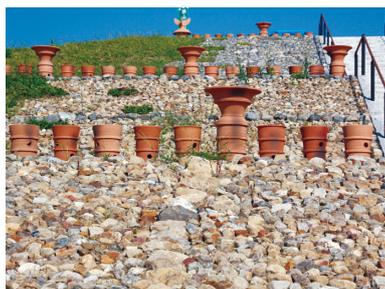
▽阪急西山天王山駅から阪急バス「久貝」下車。北へ徒歩4分
▽JR長岡京駅東口から阪急バス「大門橋」下車。西へ徒歩7分

*駐車場はありません。来園は公共交通機関で。
◎生涯学習課 文化財係 ☎954-3557 FAX954-8500



約650本の埴輪がズラリ!

公園に来てまず驚くのはズラリと並んだ埴輪。最上段には「ここに王様が眠っているよ」という印に、^{きめがきつた}偉い人の傘の形をした蓋形埴輪(写真手前)があるよ。



葺石の組み方に注目!

古墳の周りに葺石と呼ばれる石が敷き詰められていた様子を公園の一部で再現しているよ。よく見ると石の組み方を工夫してあるのがわかるね!



完全再現した1/80の模型

今は緑の公園だけど、模型を見ると石が敷き詰められていた様子がよくわかるよ。1,600年前の人はこんな大きなものを見たことがなかったから、びっくりしたでしょうね。



鉄製武器の容器を写真で

発掘当時の鉄製武器が納められていた容器を実物大の写真で展示しているよ。長さは6.5m以上!こんな大きな容器に入っていたんだね。

次世代へつなぐ歴史文化遺産

長岡京市長 小田 豊

歴代の市長が手がけた恵解山古墳の公園整備が、いよいよ完成します。今年は長岡京遷都から1230年、長岡京発掘開始から60年の記念すべき年です。古墳公園は、南部エリアの勝竜寺城公園や中山修一記念館、国登録有形文化財の中野家住宅とともに、市の歴史文化遺産をつなぐネットワークの一翼を担っています。この公園が、先人たちから受け継いだ財産を次の世代へ引き継ぐシンボルとして、また市民のみなさん憩いの場として、親しまれる存在になることを願っています。



恵解山古墳のこれまで

- 昭和42年 府教育委員会による墳丘測量調査
- 50年 長八小建設に伴う発掘調査
- 55年 墓地拡張工事に伴う発掘調査で700点を超える鉄製武器類が出土
- 56年 国の史跡に指定
- 57年 史跡用地の購入を開始(平成14年まで)
- 平成11年 鉄製武器など出土品が府有形文化財に指定
- 16年 保存整備基本構想を策定
- 17年 市民参加のワークショップを順次開催
- 18年 保存整備基本計画を策定(21年に見直し)「恵解山古墳を愛する人」の登録制度開始
- 20年 古墳の景観美化のためにコスモスを栽培
- 23年 整備工事を開始
- 26年 10月26日恵解山古墳公園 開園(予定)